

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数利用のため個別支援ができています。	少人数で実施。一人ひとりの丁寧な関りができ、支援者が子どもの特性や発達段階を把握できる。	少人数ならではのオーダーメイド支援を充実させる。視覚支援のカード等を使用し、子ども達に安心して過ごしやすい環境作りを柔軟に行っていく。
2	ペアレントプログラム等家族支援の対応ができ家族に寄り添っている。	少人数の利用で、家族同士のつながりから、子育てへの不安軽減へと努めている。	対応できる職員に限られていることもあり、対応できていない曜日もある。対応できる職員を増やしていく。場所も限られているため、より保護者の視点に立った内容を精選していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思えますか。	活動場所は広くないが、少人数で対応している。情報の伝達には配慮をしていく。	完全バリアフリー化はできていないが、限られた環境の中で安全に努めていく。親子プログラムを準備し、親子で参加できる活動にすることで、戸外活動にもチャレンジできるよう工夫をしていく。
2	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	その日のうちに保護者に報告をしている。事業所内でも報告をし改善の話し合いをしている。	保護者が求める内容を丁寧に伝える。安全に活動ができるように環境配置を徹底し、再発防止に努める対策をしっかりとっていく。
3			